

活動名	ボッチャ				
	ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。パラリンピックの種目にもなっています。				
活動のねらい	○考えた戦略をチーム内で話し、コミュニケーションをとりながら試合をすることで、協調性を育みます。				
育つ力、身につく力	協調性・戦略を立てる思考力				
活動条件	実施場所	体育館・講堂・武道館		集合場所	実施場所
	所要時間	—		人 数	2名～80名
	開始可能時間	—		対 象	小学生以上
	実施時期	通年		その他	
	職員による指導の内容	こちらは自主活動となります。職員による指導はありません。			
	引率者の役割	活動の説明、進行、安全指導、チーム・対戦順決め			
準備するもの	交流の家で用意するもの（貸出し）			購入していただくもの	
	☆ボッチャ用具一式（6人対6人） ・ジャックボール ・カラーボール ・審判道具（指示板・コンパス・メジャー）			☆1セット 1,000円/日（レンタル）	
				団体で用意するもの	
				☆なし	
活動の流れ	活動項目	所要時間	活動内容（例）		
	活動準備	5分	□必要な用具の準備 →体育館器具室Cの倉庫から出す。 ※器具室Cは施錠しているため、事務室に声をかけ、担当職員と一緒に物品を確認する。		
	活動	70分	□試合の進め方とルールの確認 ・ボールの投げ方。 ・コートのラインやサイズの確認。 ・得点の数え方の確認など。 □チームごとにボールの送球の練習 ・投げ方のコツなどをチーム内で共有する。 □対戦スタート ・チーム内で作戦を立てながら試合を進める。 ・得点は両チームが立ち合い、計算する。 ・対戦のないチームが審判を行うことも可能。		
	ふりかえり	10分	□対戦を行った感想をチーム内で共有する。 □仲間の良かった点や掛けられて嬉しかった言葉を伝える。		
	活動後	5分	□物品を片付ける。 ※器具庫Cから出した物品は扉の前に置く。 □活動が終了したことを事務室に伝え、破損等があった場合は報告する。		
注意事項	○ボール類は革製のため強く投球すると破損する恐れがあります。取扱いに注意するよう指導してください。 ○活動が他団体と重なった場合は、活動する人数に合わせて使用できる用具数を調整します。				

ポッチャについてについて

【コート】

交流の家ではバドミントンコートを使います。

【選手】

1～6人のチームで、プレーします。

【ゲームの進め方】

(1) 先攻を決め、先攻チームが白色のジャックボールを投げ、続けて、自分のカラーボールを投げます。

(2) 後攻チームが最初の投球を行います。

(3) ジャックボールから遠いチームは、相手より近づくまでボールを投げます。

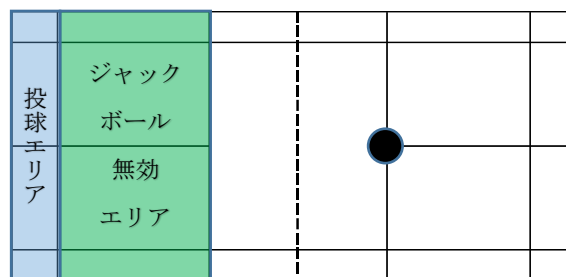
(4) 両チームとも、6球を投げ終えた時点で得点を計算します。

(5) この流れを1エンドとし、先攻を交換しながら、4エンドから6エンド行います

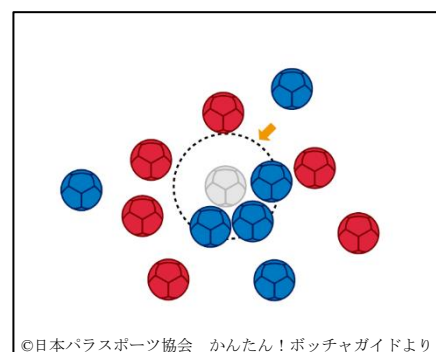
【得点の計算方法】

(1) ジャックボールに最も近いボールのチームに得点が入ります。入る得点は、相手チームのボールのなかで、ジャックボールに一番近いものより内側にある自チームのボールの個数です。

(2) 右図の場合、青チームに3点が入ります。



コート図 (バドミントンコート)



©日本バラスポーツ協会 かんたん！ポッチャガイドより

【Q&A】

Q1 投げたボールがジャックボールに当たり、両方のボールがコート外へ出た場合は、どうなりますか？

A ジャックボールはバドミントンコートの黒丸のところ（コート図参照）に戻し、自分の投げたボールはこのエンドでは無効となります。

Q2 得点を数える時、どちらもジャックボールから同じ距離にあった場合はどう計算しますか？

A 両チームに1点が入ります。